

令和5年度 第1回小野市国民健康保険運営協議会

1 日 時 令和5年8月29日(火) 13時25分～14時20分

2 場 所 小野市役所2階オープン会議室

3 出席者

被保険者代表 ・吉田 肇 ・前田 弘子 ・上山 昌子

保険医代表 ・田中 靖 ・芝本 真和

公益代表 ・松尾 憲人 ・藤原 章 ・萩原 絹夫

被用者保険オブザーバ ・久田 隆

事務局 ・市民福祉部長 岡本 智弘 ・市民課長 藤原 周平

・市民課主幹 仲山 聖 ・市民課主務 一矢 直也

4 会議内容

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 会長及び会長代理の選出

(4) 会議録署名委員の指名

(5) 協議事項

①令和4年度小野市国民健康保険特別会計の決算状況

②国民健康保険事業の状況

③その他

(6) 閉会

(1) 開会

【事務局】本日、西山委員様にご欠席との連絡がありましたので、ご報告いたします。なお、本日の会議は過半数の出席を頂いており、成立していることを宣言いたします。

(2) 自己紹介

(3) 会長及び会長代理の選出

【事務局】どなたか、会長について推薦いただく方はございませんか。

【委員】松尾委員を推薦します。(異議なし)

【事務局】では、松尾委員よろしくお願ひいたします。
会長代理についてですが、会長の方からご指名いただくことでよろしいか。

【会長】萩原委員を推薦します。(異議なし)

【事務局】では、会長代理として萩原委員、よろしくお願ひいたします。

(4) 会議録署名委員の指名

【事務局】会長及び前田委員と芝本委員にお願ひいたします。

(5) 協議事項

【事務局】(1)「令和4年度小野市国民健康保険特別会計の決算状況」について説明いたします。(資料4ページから6ページ)

【議長】委員の皆様より質疑をお受けします。

【委員】収入を見ていると県からの交付金が多いのですが、県の財源確保はどのようになっているのでしょうか。

【事務局】大まかには、市町の納付金に加え国等からの補助金で運用しています。

【事務局】少し補足させていただきます。お手元の小さい冊子の4ページに市町からの納付金と国からの公費等で財源を確保しているのが分かりやすく書かれていますので、ご参照ください。

【委員】国からもお金が多く出ているということですか。

【事務局】 はい、そのとおりです。

【事務局】 (2) 「国民健康保険事業の状況」について説明いたします。
(資料7ページ～13ページ)

【議長】 委員の皆様より質疑をお受けします。

【委員】 令和9年度に県下で保険税率が統一となると、現状より保険税は上がりませんか。

【事務局】 現状では県の示している標準保険税率とトータルで差はありません。ただし、県の方針は応能割(所得割)0.88:応益割(均等割・平等割)1であり、従来の1:1から、所得割を下げ、均等割を上げる必要があります。人数の多い世帯が不利であり、未就学児の均等割半額減免などの措置はありますが、子育て世帯などへの負担が懸念されます。また、令和9年度の統一について全体の医療費が上がるのが予想され、保険税も必然として上げることになります。

【委員】 一人当たりの医療費が加東市と西脇市で比べるととても大きいのですが、本当にこんなに差があるものなのですか。

【事務局】 国保の年齢構成や事業内容によって差は出てきます。また、市立西脇病院のような大きな病院がある市町は医療費が高額になる傾向があります。

【委員】 13ページの特定保健指導実施率が20%も下がる市があれば、20%上がる市もある。なぜ、こんなことになるのですか。

【事務局】 当事業は、特定健診受診者のうちメタボに該当した被保険者を対象として実施につなげるもので、そもそも分母が安定していない事業です。年度により少ない対象者にうまくアプローチできれば実施率は大きく上がる。従って、自治体毎、年度毎に大きな数値の増減はあり得ることと認識しています。

【事務局】 (3) その他について、次回の会議は令和6年1月20日頃に、新年度予算・事業納付金及び来年度から第3期に入るデータヘルズ計画などを議題として開催いたします。年末には日程調整させていただきます。

【議長】 これで議事の終了といたします。

(6) 閉会

【事務局】 本日は、これをもちまして閉会とさせていただきます。

閉会 14時20分